

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2019年第22週  
(5月27日～6月2日)

- \* 2019年6月5日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「多剤耐性結核」も掲載しています。

令和元年(2019年)6月6日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2019年22週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		19週	20週	21週	22週	年累計	22週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	46	68	64	60	1,249	342	8,560
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9)								
三類	コレラ			1		2		3
	細菌性赤痢	1		1	1	10	2	38
	腸管出血性大腸菌感染症	1	6	8	2	59	50	565
	腸チフス			1		2	1	16
	パラチフス	1				3	1	10
四類	E型肝炎	4	3	5	3	58	14	213
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	5	8	6	4	60	11	201
	エキノコックス症						1	5
	黄熱							
	オウム病	1				3	1	11
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>		1			1	2	27
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱			1		1		3
つつが虫病						6	61	
デング熱	5	4	3	1	44	5	132	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		19週	20週	21週	22週	年累計	22週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						2	41
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ポツリヌス症							1
	マラリア	1		1		5		18
	野兔病							
	ライム病							1
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	8	4	1	4	60	43	596
レプトスピラ症					1		4	
ロッキー山紅斑熱								
2019/6/5集計								

(全数把握対象疾患のコメント・一類～五類)

〈二類感染症〉

**結核 60件** 患者 39件(肺結核 25件、その他の結核 10件、肺結核及びその他の結核 4件)、無症状病原体保有者 19件、疑似症 2件、年齢は5歳未満 2件、20代 6件、30代 3件、40代 5件、50代 5件、60代 10件、70代 12件、80代 5件、90歳以上 12件、推定感染地は国内 41件、ペルー 1件、韓国 1件、中国 1件、不明 16件であった。

〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 1件** 患者、菌種はフレキシネル、年齢は20代、推定感染地はケニア、推定感染経路は不明であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 2件** 患者 1件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO157 VT2 1件、O157 VT型不明 1件、年齢は10代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 1件、インドネシア 1件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

〈四類感染症〉

**E型肝炎 3件** 患者 3件、年齢は40代 1件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は経口感染 3件であった。

**A型肝炎 4件** 患者 4件、年齢は20代 1件、30代 2件、40代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は経口感染 2件、同性間性的接触又は経口感染 1件、不明 1件、A型肝炎ワクチン接種歴無し 3件、不明 1件であった。

**デング熱 1件** 病型はデング熱、血清型不明、年齢は30代、推定感染地はタイであった。

**レジオネラ症 4件** 病型は肺炎型 4件、年齢は40代 1件、60代 3件、推定感染地は国内 3件、不明 1件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 3件であった。

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 3件** 病型は腸管 3件、年齢は50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、タイ 1件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、異性間 1件)、経口感染 1件であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、B型肝炎ワクチン接種歴無しであった。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 4件** 病原菌はエンテロバクター属菌 1件、クレブシエラ・アエロゲネス 3件、年齢は5歳未満 1件、50代 1件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は以前からの保菌 1件、不明 3件、90日以内の海外渡航歴はすべて無しであった。

**急性弛緩性麻痺 1件** 病原体不明、年齢は10代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ポリオ含有ワクチン接種歴は2回接種済みであった。

※ 第17週該当分として〔四類〕マラリア 1件の追加報告があった。  
 ※ 第18週該当分として〔四類〕デング熱 1件の追加報告があった。  
 ※ 第19週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件の追加報告があった。  
 ※ 第19週該当分として〔四類〕マラリア 1件、レジオネラ症 2件の追加報告があった。  
 ※ 第20週該当分として〔四類〕E型肝炎 1件、デング熱 2件の追加報告があった。  
 ※ 第21週該当分として〔三類〕細菌性赤痢 1件、腸管出血性大腸菌感染症 1件の追加報告があった。  
 ※ 第21週該当分として〔四類〕E型肝炎 1件、マラリア 1件の追加報告があった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2019年22週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		19週	20週	21週	22週	年累計	22週	年累計
五 類 (全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	2	7	1	3	76	11	366
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1		1	1	30	5	128
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	3	5	4	84	26	781
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1		1		1	3	3	29
	急性脳炎 *2	1		1	2	44	5	435
	クリプトスポリジウム症					2		7
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	10	3	69
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	3	2	2	47	10	391
	後天性免疫不全症候群	4	4	7	10	164	16	466
	ジアルジア症					3	1	18
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	2	1	4	42	13	272
	侵襲性髄膜炎菌感染症					1	2	22
	侵襲性肺炎球菌感染症	15	11	8	11	206	44	1,759
	水痘(入院例に限る)	2	3	2		28	6	194
	先天性風しん症候群					1		2
	梅毒	38	41	36	44	720	91	2,647
	播種性クリプトコックス症			1		7	4	63
	破傷風	1			1	3	2	37
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3		30
百日咳	23	38	19	13	697	223	6,556	
風しん	27	32	23	11	576	30	1,658	
麻しん	7	17	3	1	99	24	590	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					2		15	

2019/6/5集計

\*1 2018年5月1日より追加指定された。

\*2 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

**急性脳炎 2件** 病原体はヒトヘルペスウイルス6型 1件、単純ヘルペスウイルス1型 1件、年齢は5歳未満 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、経口感染 1件であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 1件** 孤発性-古典型CJD、年齢は60代であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件** 血清群はB群 1件、不明 1件、年齢は50代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は創傷感染 1件、不明 1件であった。

**後天性免疫不全症候群 10件** AIDS 1件、無症候キャリア 8件、その他 1件、性別は男性 10件、AIDS患者の年齢は40代、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 5件、30代 1件、40代 1件、50代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 9件、不明 1件、推定感染経路は同性間性的接触 9件、不明 1件であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 4件** 血清型はすべて検査未実施、年齢は70代 1件、80代 3件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 3件、ヒブワクチン接種歴無し 3件、不明 1件であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 11件** 血清型はすべて検査未実施、年齢は5歳未満 3件、60代 1件、70代 4件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 11件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、不明 8件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価3回接種済み 3件、無し 2件、不明 6件であった。90歳以上のうち1件は死亡が確認された。

**梅毒 44件** 患者 31件(早期顕症梅毒Ⅰ期 9件、早期顕症梅毒Ⅱ期 21件、晩期顕症梅毒 1件)、無症候梅毒 13件、性別は男性 36件、女性 8件、年齢は20代 12件、30代 10件、40代 14件、50代 7件、60代 1件、推定感染地は国内 38件、タイ 1件、中国 1件、国内又はタイ又は韓国又はフィリピン 1件、不明 3件、推定感染経路は性的接触 43件(同性間 15件、異性間 16件、両性間 1件、性別不明 11件)、不明 1件であった。

**破傷風 1件** 臨床診断例、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染であった。

**百日咳 13件** 年齢は10歳未満 7件(うち5歳未満 1件)、10代 1件、20代 1件、30代 2件、40代 2件、推定感染地は国内 10件、不明 3件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 7件、無し 1件、不明 5件であった。

**風しん 11件** すべて検査診断例、年齢は10歳未満 1件、20代 5件、30代 1件、40代 4件、推定感染地は国内 9件、フィリピン 1件、不明 1件、推定感染経路は飛沫感染 1件、飛沫感染又は接触感染 1件、不明 9件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種済み 1件、無し 1件、不明 9件であった。

**麻しん 1件** 検査診断例、遺伝子型はB3、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、麻しん含有ワクチン接種歴無しであった。

※ 第21週で報告のあった〔五類〕水痘(入院例)1件は削除された。

※ 第16週該当分として〔五類〕アメーバ赤痢 1件、梅毒 2件の追加報告があった。

※ 第17週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第19週該当分として〔五類〕アメーバ赤痢 1件、梅毒 2件の追加報告があった。

※ 第21週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 2件、侵襲性肺炎球菌感染症 1件、水痘(入院例)1件、梅毒 10件、百日咳 1件、風しん 2件、麻しん 2件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2019年22週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2019年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		19週	20週	21週	22週		
小児科	RSウイルス感染症	32 0.12	55 0.21	73 0.28	67 0.26	261	264
	咽頭結膜熱	89 0.34	82 0.32	140 0.54	173 0.66		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	535 2.06	834 3.22	773 2.97	821 3.15		
	感染性胃腸炎	1,562 6.01	2,104 8.12	1,953 7.51	2,000 7.66		
	水痘	210 0.81	106 0.41	143 0.55	137 0.52		
	手足口病	34 0.13	83 0.32	109 0.42	173 0.66		
	伝染性紅斑	126 0.48	128 0.49	122 0.47	99 0.38		
	突発性発しん	143 0.55	146 0.56	167 0.64	145 0.56		
	ヘルパンギーナ	8 0.03	14 0.05	24 0.09	33 0.13		
	流行性耳下腺炎	21 0.08	21 0.08	28 0.11	24 0.09		
	川崎病 <sup>*1</sup>	1 0.00	3 0.01	2 0.01	6 0.02		
	不明発しん症 <sup>*1</sup>	16 0.06	15 0.06	14 0.05	15 0.06		
	インフルエンザ	インフルエンザ <sup>*2</sup>	337 0.81	361 0.87	218 0.53		
眼科	急性出血性結膜炎	1 0.03				38	39
	流行性角結膜炎	17 0.45	21 0.57	8 0.21	7 0.18		
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>	2 0.08	1 0.04	1 0.04		25	25
	無菌性髄膜炎			4 0.16			
	マイコプラズマ肺炎	2 0.08	1 0.04	3 0.12	2 0.08		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2 0.08					
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>	14 0.56	10 0.40	8 0.32	6 0.24		
	インフルエンザ入院	2 0.08		1 0.04	2 0.08		

2019/6/5集計

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・咽頭結膜熱の定点当たり報告数が増加しています。3歳以下が約8割を占めています。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、台東保健所管内で警報レベルが続いています。
- ・手足口病の定点当たり報告数は19週以降増加傾向で、今後注意が必要です。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2019年22週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	9			23	2	1		1			
6～11か月	24	29	3	158	2	25	3	36	4		
1歳	22	64	27	292	5	82	7	73	14	1	
2歳	5	24	34	211	2	27	11	19	7	1	1
3歳	5	21	88	205	5	15	11	7	3	4	3
4歳	1	12	125	184	13	11	23	3		4	
5歳	1	7	109	172	10	3	16	2	1	4	
6歳			109	138	16	1	14	1	1	5	1
7歳		8	99	112	28		8	2	2	1	1
8歳		1	62	79	22	2	1		1	1	
9歳		2	53	65	14		1	1		1	
10～14歳		2	64	173	17	3	4			2	
15～19歳			4	29	1						
20～29歳		3	44	159		3					
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	67	173	821	2,000	137	173	99	145	33	24	6
先週比	-6	33	48	47	-6	64	-23	-22	9	-4	4

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科			基幹				
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月										
6～11か月	1	5							2	
1歳	5								1	
2歳	2	8		1						
3歳	4	9					1			
4歳		5								
5歳	2	5								1
6歳		15					1			
7歳	1	11		1					1	
8歳		3								
9歳		7								
10～14歳		22							2	
15～19歳		11								
20～29歳		16		1						
30～39歳		13		3						
40～49歳		6		1						
50～59歳		5								
60～69歳		1								
70～79歳		1								
80歳以上										1
合計	15	143		7			2		6	2
先週比	1	-75		-1	-1	-4	-1		-2	1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

## 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2019年22週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	0.33		1.67	2.00	0.33						0.33
中央区	0.33	1.00	6.00	11.00		1.00		1.00		0.33	
みなと	0.33	0.50	3.50	3.33	0.33	0.83		1.17	0.17	0.17	
新宿区	1.25	0.38	3.38	5.25	1.00		0.38	0.25		0.13	
文京	0.25	0.25	1.75	2.75	0.50	0.25	0.50	0.50		0.25	
台東		1.00	4.00	20.75	0.75	0.50		0.75			
墨田区	0.20	0.20	1.80	4.40	0.40	2.20					
江東区	0.33	0.56	3.11	10.22	1.11	0.89	0.11	0.56	0.11		
品川区	0.13	0.50	3.25	4.88	0.38	1.00	1.00	0.38	0.13		0.13
目黒区			5.80	6.00	0.20	0.60		1.40	0.40		
大田区	0.31	1.08	4.77	11.00	0.62	0.77	1.00	0.62	0.15	0.15	0.08
世田谷	0.31	0.81	4.69	9.06	1.13	1.75	0.38	0.63	0.38	0.06	
渋谷区	0.25	0.25	1.75	4.75	0.25	1.00	0.50	0.75			
中野区		0.67	4.67	6.67	0.17	0.50	0.33	1.17			
杉並	0.27	0.73	1.45	5.55	0.09		0.18	0.55			0.09
池袋	0.25	0.25	0.50	3.50	0.25	0.50		0.25	0.25		
北区	0.14	0.43	0.43	4.71	0.43	0.14		1.00		0.14	
荒川区	0.75	1.00	3.25	9.75			1.50	0.25			
板橋区			1.40	4.40	0.40	1.30	0.40	0.30	0.20		
練馬区	0.46	0.69	3.23	10.08	0.62	0.62	0.08	0.77	0.15	0.08	
足立		0.85	3.08	8.31	0.23	0.15	0.08	0.62	0.15	0.08	
葛飾区	0.25		1.88	11.00	0.13	0.75	0.63	1.00	0.25	0.13	
江戸川	0.17	0.67	4.42	6.08	0.33	2.08	0.42	0.08		0.17	0.08
八王子市	0.27	1.18	3.73	13.36	0.27	0.64	0.36	0.36	0.09	0.18	0.09
町田市		0.25	4.75	14.63	0.63	0.50		0.50	0.13		
西多摩	0.13	0.63	1.63	4.00	0.13	0.50	0.63	0.38	0.13		
南多摩	0.56	0.44	3.11	7.67		0.11	0.33	0.44		0.33	
多摩立川	0.38	0.08	1.62	4.85	0.54		0.46	0.38		0.08	
多摩府中	0.19	0.71	3.19	6.38	0.81	0.38	0.67	0.52	0.29	0.14	
多摩小平	0.07	2.36	4.00	8.71	1.36	0.43	0.43	0.64	0.14	0.14	
島しょ			1.00								
東京都	0.26	0.66	3.15	7.66	0.52	0.66	0.38	0.56	0.13	0.09	0.02

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		0.25								
中央区		0.20		1.00						
みなと		0.44								
新宿区		0.25					1.00			
文京		0.14								
台東	0.25	0.29								
墨田区		0.75								
江東区		0.71								
品川区		0.42								
目黒区		0.25								
大田区		0.19								
世田谷	0.19	0.56		0.50					1.00	
渋谷区	0.25									
中野区		0.30								
杉並	0.09	0.12							0.50	
池袋									2.00	
北区		0.73								
荒川区		0.14								
板橋区	0.10	0.44								
練馬区	0.08	0.14								
足立		0.85		1.00						
葛飾区		0.54							1.00	2.00
江戸川		0.11								
八王子市		0.33		0.50						
町田市		0.08								
西多摩	0.13	0.29								
南多摩		0.07								
多摩立川		0.35								
多摩府中	0.24	0.50								
多摩小平	0.07	0.23		1.00						
島しょ										

東京都	0.06	0.34		0.18			0.08		0.24	0.08
-----	------	------	--	------	--	--	------	--	------	------



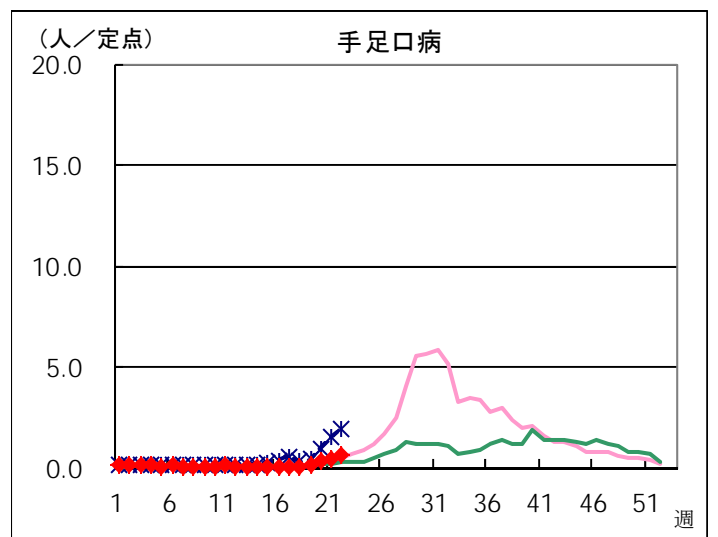
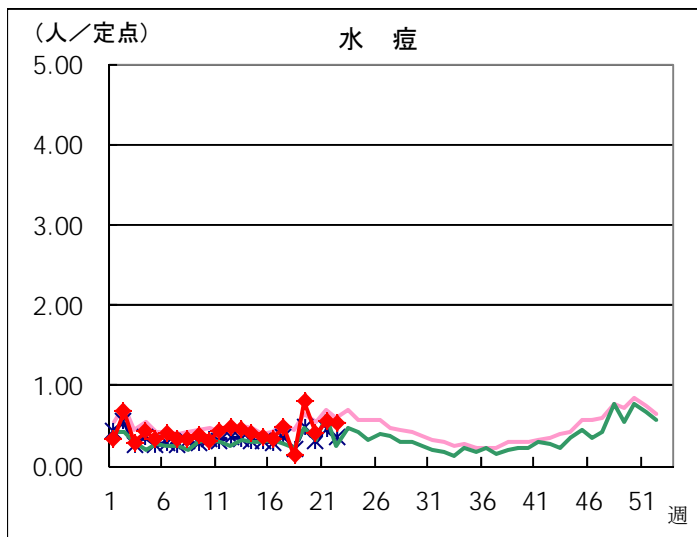
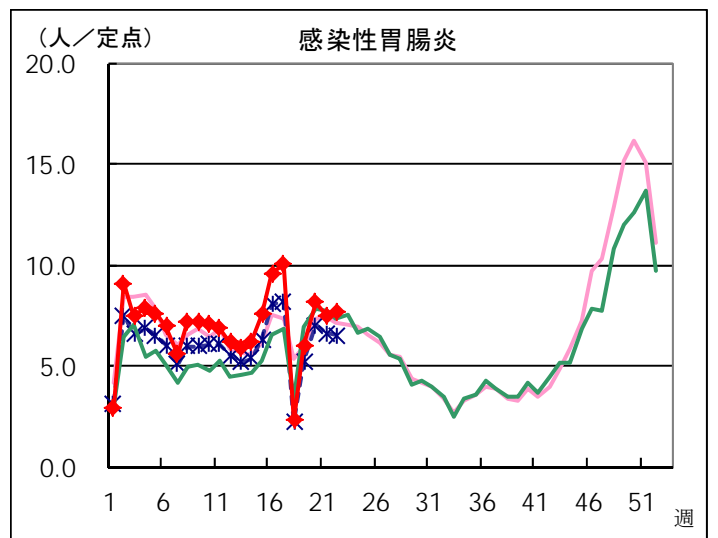
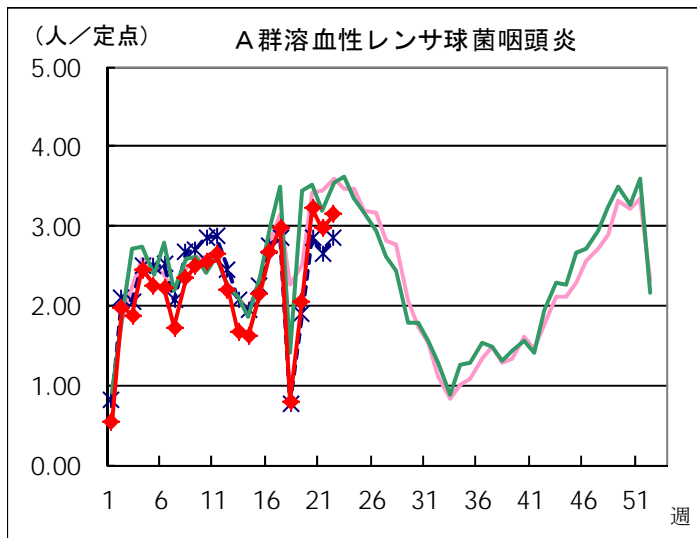
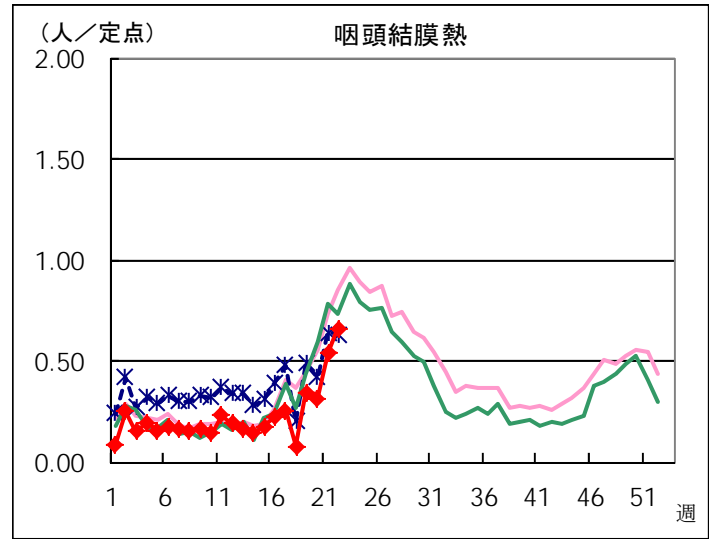
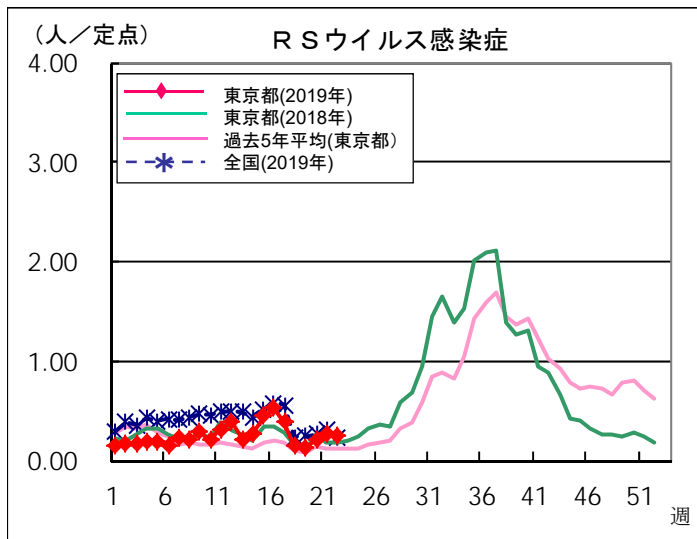
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2019年22週

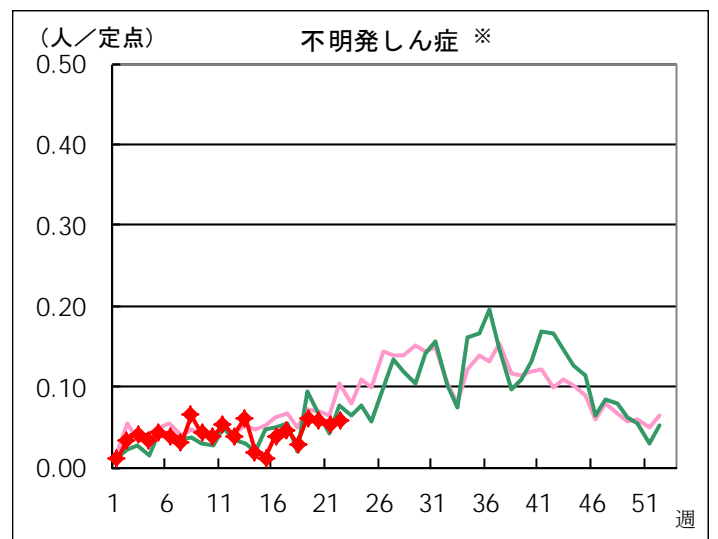
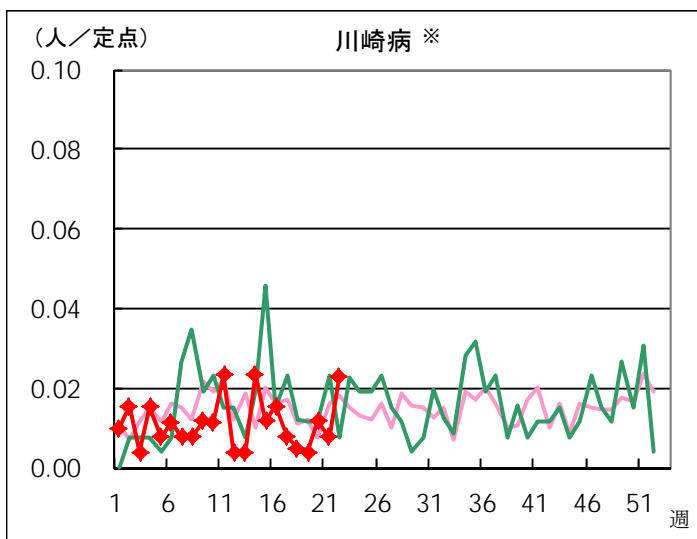
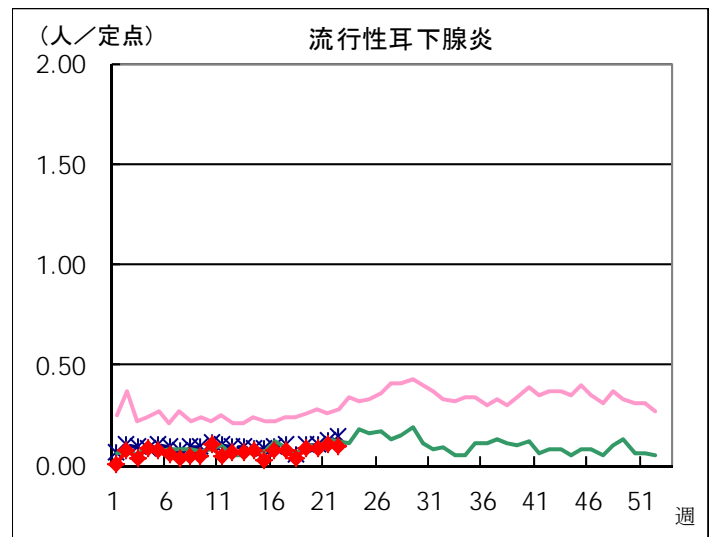
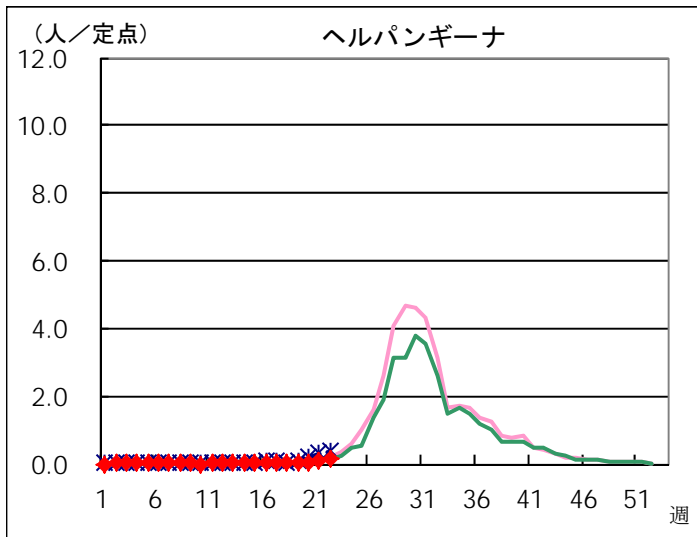
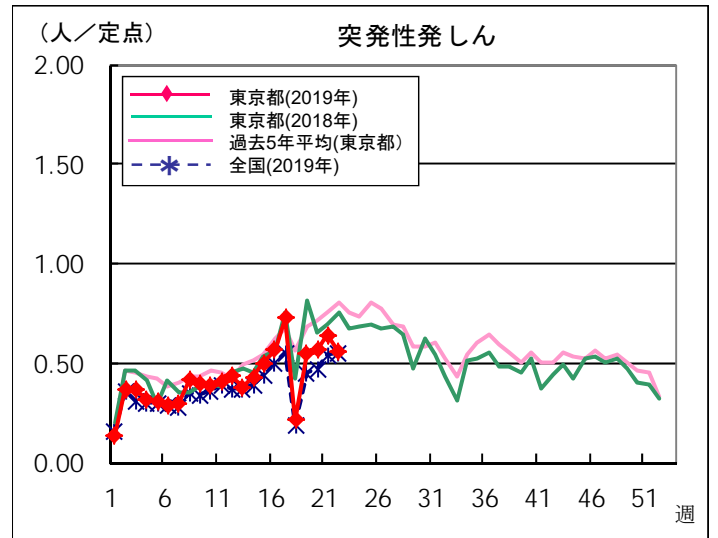
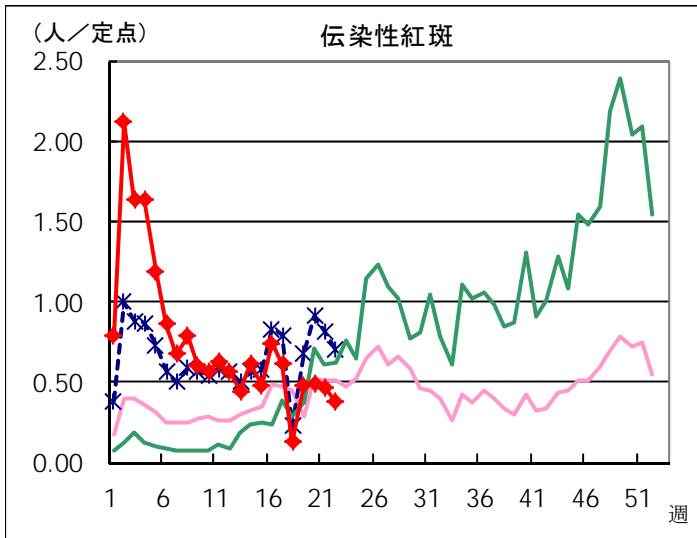
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	1		5	6	1						1
中央区	1	3	18	33		3		3		1	
みなと	2	3	21	20	2	5		7	1	1	
新宿区	10	3	27	42	8		3	2		1	
文京	1	1	7	11	2	1	2	2		1	
台東		4	16	83	3	2		3			
墨田区	1	1	9	22	2	11					
江東区	3	5	28	92	10	8	1	5	1		
品川区	1	4	26	39	3	8	8	3	1		1
目黒区			29	30	1	3		7	2		
大田区	4	14	62	143	8	10	13	8	2	2	1
世田谷	5	13	75	145	18	28	6	10	6	1	
渋谷区	1	1	7	19	1	4	2	3			
中野区		4	28	40	1	3	2	7			
杉並	3	8	16	61	1		2	6			1
池袋	1	1	2	14	1	2		1	1		
北区	1	3	3	33	3	1		7		1	
荒川区	3	4	13	39			6	1			
板橋区			14	44	4	13	4	3	2		
練馬区	6	9	42	131	8	8	1	10	2	1	
足立		11	40	108	3	2	1	8	2	1	
葛飾区	2		15	88	1	6	5	8	2	1	
江戸川	2	8	53	73	4	25	5	1		2	1
八王子市	3	13	41	147	3	7	4	4	1	2	1
町田市		2	38	117	5	4		4	1		
西多摩	1	5	13	32	1	4	5	3	1		
南多摩	5	4	28	69		1	3	4		3	
多摩立川	5	1	21	63	7		6	5		1	
多摩府中	4	15	67	134	17	8	14	11	6	3	
多摩小平	1	33	56	122	19	6	6	9	2	2	
島しょ			1								
東京都合計	67	173	821	2,000	137	173	99	145	33	24	6

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		1								
中央区		1		1						
みなと		4								
新宿区		3					2			
文京		1								
台東	1	2								
墨田区		6								
江東区		10								
品川区		5								
目黒区		2								
大田区		4								
世田谷	3	14		1					2	
渋谷区	1									
中野区		3								
杉並	1	2							1	
池袋									2	
北区		8								
荒川区		1								
板橋区	1	7								
練馬区	1	3								
足立		17		2						
葛飾区		7							1	2
江戸川		2								
八王子市		6		1						
町田市		1								
西多摩	1	4								
南多摩		1								
多摩立川		7								
多摩府中	5	16								
多摩小平	1	5		2						
島しょ										
東京都合計	15	143		7			2		6	2

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2019年22週 現在)

## ◆ 小児科定点

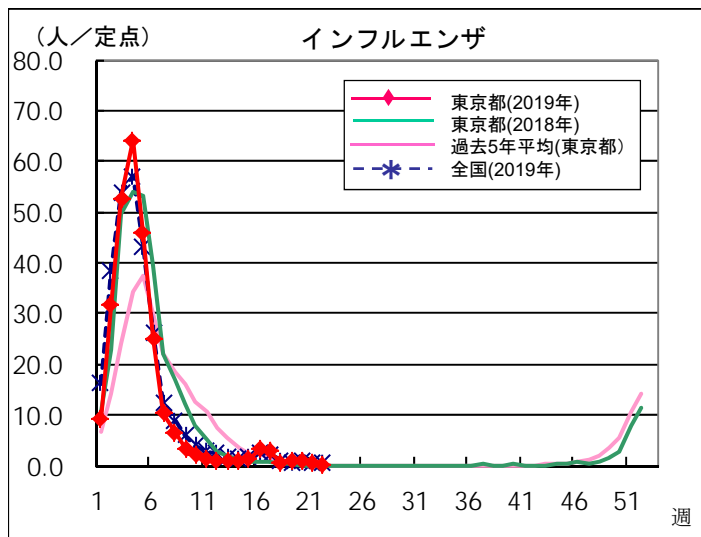




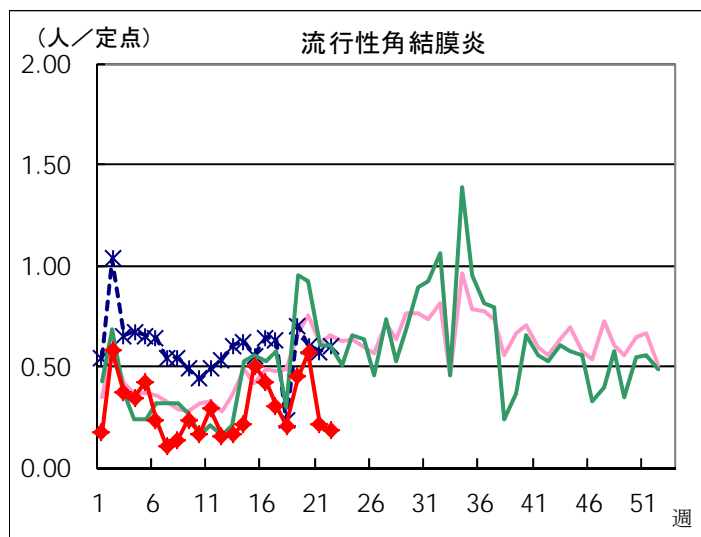
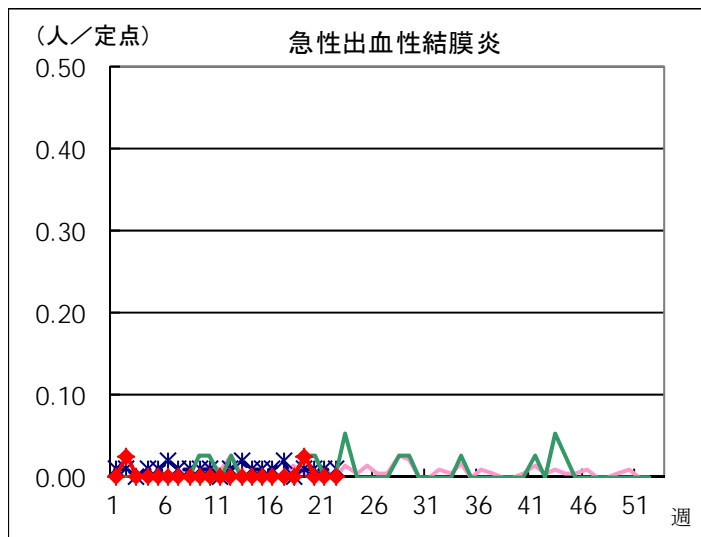
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

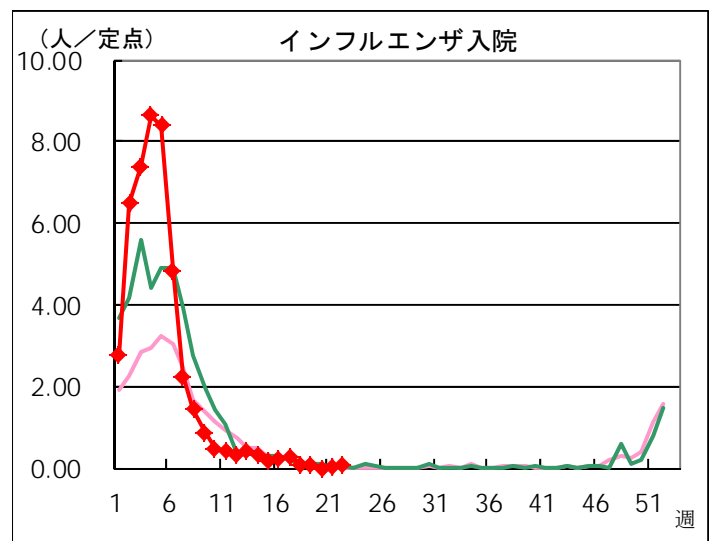
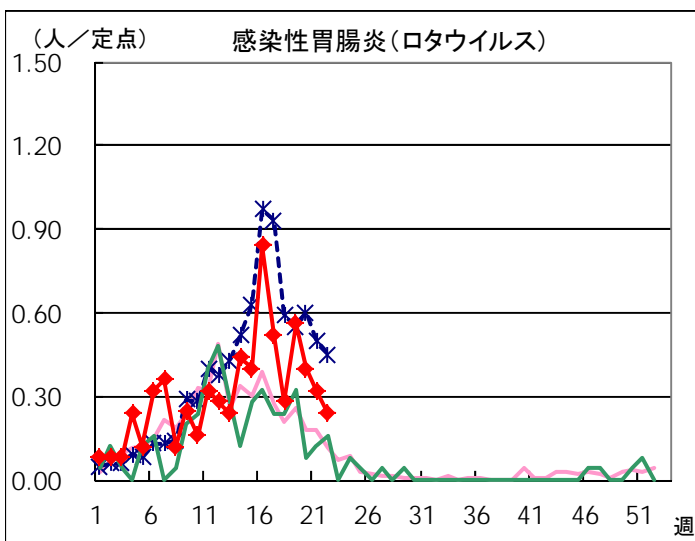
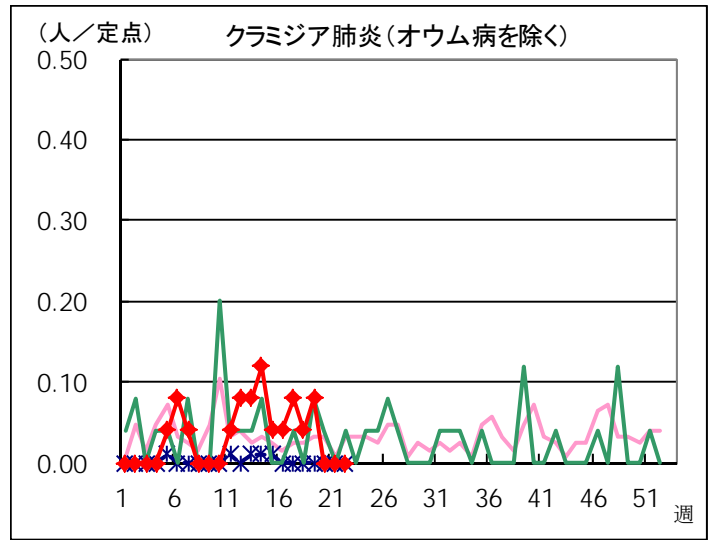
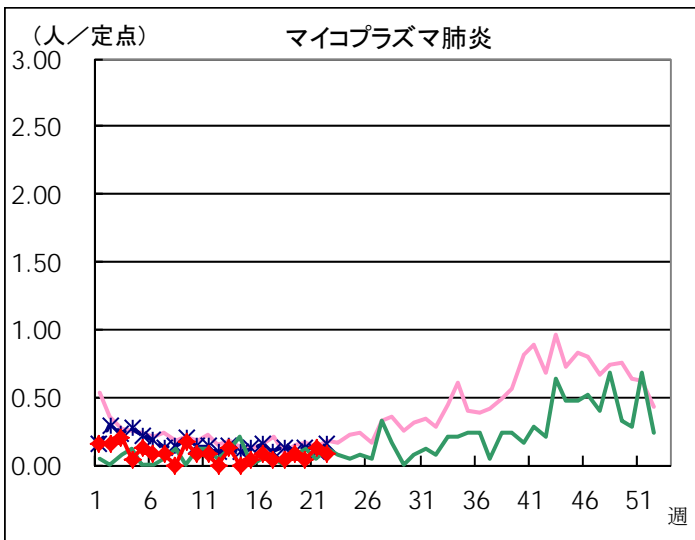
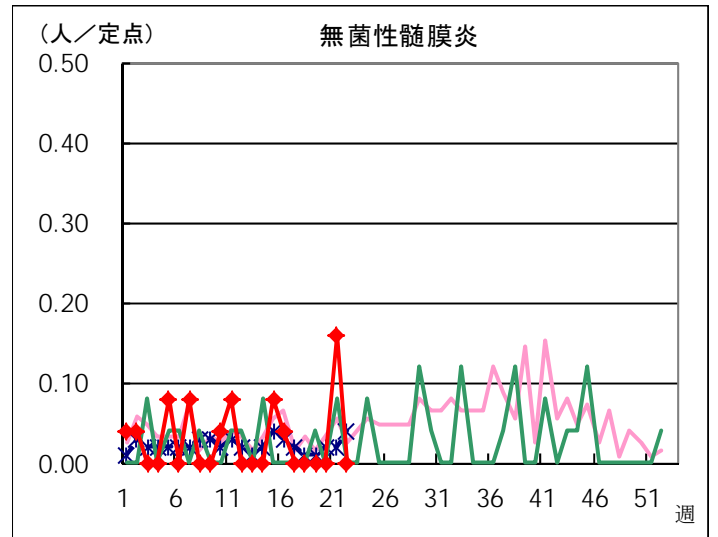
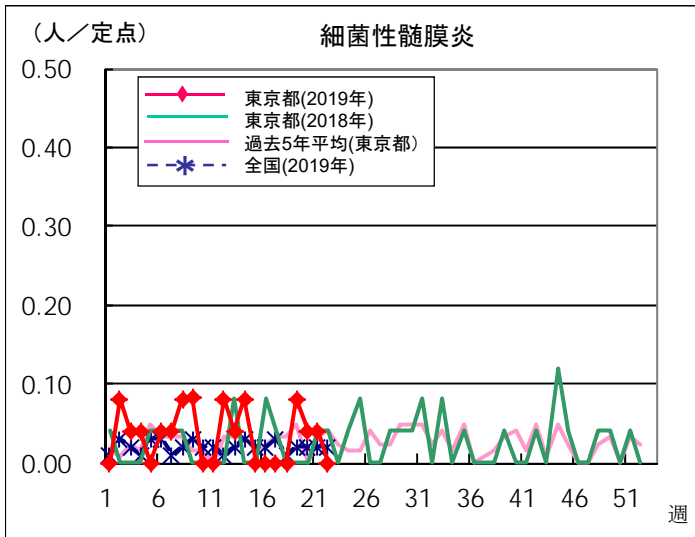
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
4/11	感染性胃腸炎	4	便	ノロウイルスGⅡ A群ロタウイルス
4/22	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-28型
4/22	RSウイルス感染症	5M	咽頭拭い液	RSウイルスB型
4/23	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-12型
4/26	感染性胃腸炎	84	便	A群ロタウイルス
4/30	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-12型
4/30	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-1型
5/2	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
5/5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型
5/13	インフルエンザ	8	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1pdm09 <sup>※</sup> アデノウイルス
5/13	感染性胃腸炎	3	直腸拭い液	A群ロタウイルス
5/15	インフルエンザ様疾患	記載なし	咽頭拭い液	ライノウイルス

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2019年19週		1	6	
2019年20週	2		5	
2018-2019年 シーズン累計*	152	273	32	2

\* 2018-2019年シーズンの開始は第36週(2018年9月3日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2019年							
	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週
アデノウイルス		2	2	1	2		1	1
コクサッキーウイルスA群				1				
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス		1		1				1
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス		2	1		2			
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	2	3		1	2		3	1
EBウイルス	1	1			1			
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス	2		1					
風疹1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19	1	1		1	1			
RSウイルス	1							1
ノロウイルス			1	1				
ロタウイルス	3	2	2	3			1	1
サポウイルス		1	1					
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1	3		5				2
インフルエンザウイルスAH3亜型	7	2	6	5	5		1	
インフルエンザウイルスB型Victoria系統	1	2	6		8		6	5
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型		1		1	1			1
A群溶血性レンサ球菌T-3型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-4型								
A群溶血性レンサ球菌T-12型	2			1				2
A群溶血性レンサ球菌T-25型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-28型	1							1
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	2				1			1
A群溶血性レンサ球菌その他のT型	1							
A群溶血性レンサ球菌T型別不能	1							
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2019年13週～2019年20週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	5	19	21	8	2	5	6		8	1	27	59	20					3	
アデノウイルス		2		1									3	3						
コクサッキーウイルスA群						1														
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス																				
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス																				
ライノウイルス					1									2						
ヒトタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス					5															
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1			2			4					5							
EBウイルス										2			1							
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)																				
風しんウイルス													3							
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトバルボウイルスB19								3												
RSウイルス	2																			
ノロウイルス				2																
ロタウイルス				12																
サボウイルス				2																
インフルエンザウイルスAH1pdm09													10	1						
インフルエンザウイルスAH3亜型													24	2						
インフルエンザウイルスB型Victoria系統													25	3						
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
その他のウイルス																				
A群溶血性レンサ球菌T-1型			4																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-4型																				
A群溶血性レンサ球菌T-12型			5																	
A群溶血性レンサ球菌T-25型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-28型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			4																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			1																	
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

## 多剤耐性結核

WHO（世界保健機関）によると、2017年には世界で1,000万人が結核に罹患し、160万人が死亡したと推定されている。結核は未だに途上国を中心に増加傾向にある。我が国の結核患者数は順調に減少してきたが、結核罹患率は人口10万対13.3（2017年）と高く、依然として結核中蔓延国である。このような状況下で、現在世界的に耐性結核が問題になっている。

耐性結核菌は抗結核薬のいずれかに耐性のある結核菌を指すが、最も強力な治療薬であるイソニアジドとリファンピシンの両剤に耐性のある耐性菌による結核を多剤耐性結核（Multidrug-resistant tuberculosis: MDR-TB）という。この両薬剤のいずれかが欠けても結核の治療は難しくなる。ところが、MDR-TBの中に少なくとも一つの注射剤〔カナマイシン、カプレオマイシン、アミカシン〕と一種類のフルオロキノロン剤への耐性を獲得した超多剤耐性結核（Extensively drug-resistant tuberculosis: XDR-TB）が出現している。MDR-TBやXDR-TBは治療に難渋するだけでなく、予後も不良であり、感染対策上も十分な配慮が必要になる。我が国では、MDR-TBは過去5年間ではいずれの年も50人前後（47～56人）であり、患者数は少なく幸い増加傾向は見られない。

近年、MDR-TB用の薬剤であるデラマニドおよびベダキリンが登場し、治療成績が上がっている。しかしながら、MDR-TBの出現を抑える努力が必要であり、初回治療を規則正しく確実に遂行することが重要である。

（文責 国立病院機構東京病院 統括診療部長 永井英明）